



横浜市立西本郷中学校
横浜市栄区小菅ヶ谷 1-29-1
Tel 045-892-1911

第9号 令和7年12月25日

年の瀬によせて

こうちょう かじがや ともえ
校長 梶ヶ谷 朋恵

師走の冷え込み厳しく、校庭の息吹が冬の色を深めています。早いもので2025年も締めくくりの時期になりました。昨年度この西本郷中学校に着任し、今年度からは、校長として地域の方々、生徒の皆さん、校内の教職員と接してきた中で、西本郷中学校の温かさや地域からの激励の有難さ、周囲の愛情を受けながら育ってきた生徒たちの穏やかで純粋な姿など、改めて嬉しい発見の多い1年間でした。

一方、世の中の流れを振り返ると、大阪万博の盛況やスポーツ選手の活躍などの明るいニュースに加えて、不安定な経済状況、度重なる災害や野生動物による被害、そして新たな首相の就任に伴い様々な政治に関する意見や情報が飛び交う世相など、非常に目まぐるしく、改めて「情報を正しくとらえ」「自分の頭で考えられる」生徒の育成をしていく必要性を痛感しております。自分自身も情報の波にのまれ、軽率な判断をしないよう心がけながら、今必要な学校づくりをしていきたいと、決意を新たにしております。

さて、12月は、すべての学年で個人面談が行われ、一人ひとりの生徒の皆さんが2学期を振り返り、次への見通しを確認する機会がありました。あっという間の3年間、時々自分の考えや行動を思い返しなが、前向きに次につながれるとよいですね。特に3年生は進路選択の大きな一歩を踏み出し、次の準備に向かっていく大切な時期になります。進学を目指す学校を決めるのも、それに向けて気持ちや準備を整えるのも自分自身です。「色々な意見を真摯に聞いて、最終的には自分で決める」「何があっても人のせいにはしない」そのような経験は、今後の人生にも役に立つはず。笑顔で乗り切れるよう応援しています。

この時期が来ると思い出すこととして、「即今只今」という言葉があります。京都の鈴虫寺の説法としても知られる禅の言葉です。読み方は他にもありますが、意味としては、「過去にとらわれたり、未来を不安に思ったりするのではなく、今この瞬間を大切に生きる」ということです。そうは言っても考えてしまうよ、と思うかもしれませんが、人は過去に戻ることもしなげれば、未来を先回りして小細工をすることもできないわけで「今」を大切にすることは、生きていくのにとっても大事なことに思えます。今ある自分を受け入れて、今できることを一生懸命することで、未来の自分につながるのだと考え、お互いに日々を豊かに過ごしていきましょう。3学期の晴れやかなスタートに期待しています。